

2014年12月26日

各 位

会 社 名 大塚ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 樋口 達夫
(コード番号：4578 東証一部)
問合せ先 IR部 IR担当部長 小暮 雄二
(TEL 03-6361-7411)

酸関連疾患治療剤「タケキャブ®錠」日本における製造販売承認取得について

当社の100%子会社である大塚製薬株式会社下記について発表をいたしましたのでお知らせします。なお、2014年5月14日に発表した当社2014年度の連結業績予想に変更はございません。

武田薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：クリストフ・ウェバー、以下「武田薬品」）と大塚製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岩本太郎、以下「大塚製薬」）は、本日、武田薬品が酸関連疾患治療剤「タケキャブ®錠 10mg、同錠 20mg」（一般名：ポノプラザンフマル酸塩、以下「タケキャブ」）について、厚生労働省から製造販売承認を取得しましたことをお知らせします。

タケキャブは、武田薬品が創製したカリウムイオン競合型アシッドブロッカー（Potassium-Competitive Acid Blocker：P-CAB）とも呼ばれる新しい作用機序を有する酸関連疾患治療剤であり、胃壁細胞における酸分泌の最終段階に位置するH⁺、K⁺-ATPase（プロトンポンプ）をカリウムイオンと競合的に阻害することにより、強力かつ持続的な酸分泌抑制作用を示します。

今回の承認取得は、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、H. pylori の除菌の補助などに関して、日本で実施された複数の臨床第3相試験の結果に基づいています。いずれの試験においても、本薬の優れた有効性と良好な安全性および忍容性が確認されています。

本年3月末に、大塚製薬と武田薬品は、本剤の国内における共同プロモーション契約を締結しています。製造、販売は武田薬品が行い、情報活動は大塚製薬と武田薬品の両社で実施します。両社協力の下、酸関連疾患治療における課題解決につながる活動を実施することにより、更なる医療ニーズへの貢献を目指します。

以上